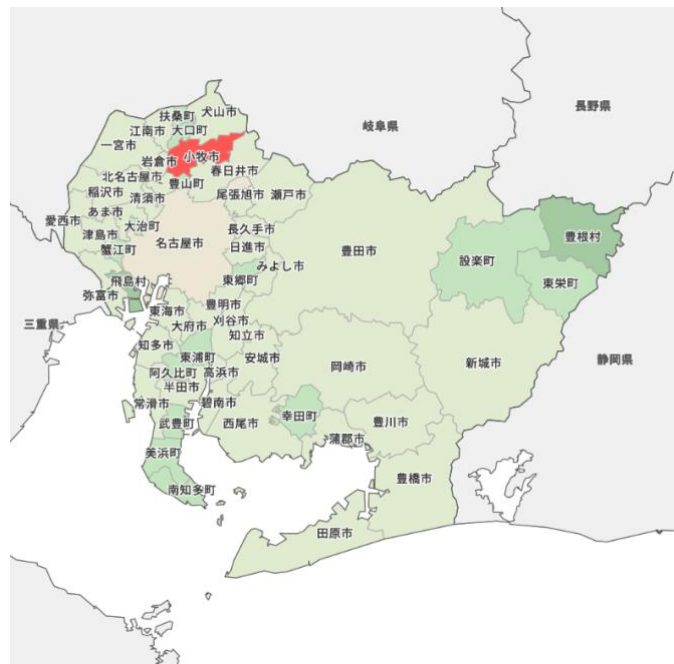


愛知県小牧市のご紹介



稲山 朋宏

ご当地紹介として、私の住む愛知県小牧市周辺の紹介をさせていただきたいと思います。私の地元に興味を持っていただき、名古屋にお越しの際は、是非少し足を延ばしてお寄り頂ければ幸いです。なお小牧市は、名古屋市の北に位置する人口約15万人の町です。名古屋駅まで電車で約20分の距離にあります。市内にある小牧インターチェンジ（以下、小牧IC）は、名神高速道路と東名高速道路の起終点であり、小牧ICより西は名神、東は東名という境界となっております。



<小牧山>

織田信長がはじめて城を築城し、豊臣秀吉と徳川家康の天下分け目の合戦の一つである、『小牧・長久手の戦い』の舞台となった山です。標高は86m。山全体が公園となっており、マラソンコースとしても活用できます。又、山の頂上には小牧山城が建っています（内部は歴史館）。山の麓には、「れきしるこまき」と呼ばれる歴史館があります。



小牧山、小牧山城（小牧市ホームページより）



小牧山城（左）、れきしるこまき（右）（愛知県観光協会ホームページより）

<大縣神社、田縣神社、間々乳観音>

小牧市周辺には、一風変わった神社がいくつかあります。

大縣神社（犬山市）には女性器、田縣神社は男根がそれぞれ祭られています。又、間々乳観音は「おっぱい観音」として知られています。それぞれ、由緒正しい神社ですが、参拝するのは少し恥ずかしいかもしれません・・・。



大縣神社（左）、田縣神社（右）（愛知県観光協会ホームページより）



間々乳観音（愛知県観光協会ホームページより）

<名古屋コーチン>

今や全国的に知られている名古屋コーチン。実は名古屋コーチンは、小牧市が発祥です。そのせいか、小牧市には、名古屋コーチンを美味しく食べることができる飲食店が多数あります。



名古屋コーチン（左）（愛知県観光協会ホームページより） 駅前モニュメント（右）（小牧市ホームページより）

<モーニング>

ドリンク一杯の値段でトーストなどを朝食として食べることができます。この地域では、トーストのトッピングとしてあんこがついてくるのは定番。又、お店によっては、食パン一斤が丸ごと出てきたり、おにぎり、みそ汁、お刺身、茶わん蒸しがついてきたり……。どんどんエスカレートしていきます。



モーニング（愛知県観光協会ホームページより）

<おまけ：「尾張小牧」ナンバー>

4文字の地域名表示をもつ珍しいナンバー。1979年誕生。当初は「小牧」ナンバーにしたかったところ、周辺地域から猛反対にあい、「尾張」ナンバー案が浮上。しかし、今度は小牧市が猛反対し、結局、両方くっつけて「尾張小牧」ナンバーになったとのこと。東京在住時、例えば信号待ちの時に横断歩道を渡る子供たちに指をさされる等、肩身の狭い思いをしました。

「尾張小牧」ナンバーのついた車がほとんどの駐車場の風景には、少し驚かれるかもしれません。

